

令和5年2月16日(木)、17日(金) 懇談会 校長挨拶

- 保護者の皆様、本日はご多用のところ、懇談会にお越しくござりありがとうございます。本校校長の小野でございます。
- 立春を過ぎ、暦の上では春になったとは言え、まだまだ北風が吹く寒い日もある今日この頃ですが、桜っ子は、そんな寒さにも負けず、校庭に出て、マラソンをしたり、縄跳びをしたり、遊んだり元気な姿を見せてくれています。
- 今年も、コロナ禍に翻弄された1年となり、4月は懇談会のみ、6月は授業参観のみ、そして「授業参観・懇談会」として行おうとしていた11月も、感染拡大により、急遽「懇談会のみ」となってしまったため、本日が、今年度、最初にして最後の、「授業参観・懇談会」となってしまいました。
- 先々週あたりから、校内での「コロナ感染」はかなり落ち着いている状態で、本日無事に、お子様の学校での様子を見ていただくことができ、嬉しく思います。
- そんな1年でしたが、予定していた、体育発表会、ドリーム集会、持久走大会などの「学校行事」や、林間学校、修学旅行、遠足、社会科見学などの「校外行事」については、学級閉鎖等でどこかのクラス・学年が欠けることは一度もなく、無事に、大成功の裡に、終えることができました。
- これも、各ご家庭で感染防止対策を徹底いただいたおかげであると、心から感謝しております。ありがとうございました。
- 本校では、若干名の「インフルエンザ」罹患者も出始めていて、コロナの再拡大を含めまだまだ気が抜けませんが、引き続き、感染防止対策にご協力いただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。
- さて、本日、この後の各学級での懇談会では、「今年度のまとめ」と新年度に向けての準備についてのお話合いになるかと思えます。
- 年度の変わり目などの時に「節目」という言葉がよく使われます。節目と言えば「竹の節」が思い出されますが、この「竹の節」について、少しお話をさせていただきます。
- 空に向かってまっすぐにすくすくと育つ「竹」は、よく子供たちに例えられます。
- この竹は、節目では伸びが遅くなります。それは節を作っているからです。節が出来上がるとまた、すくすくと伸びていきます。このようにできていく

節目は見た目の美しさと同時に、強度にも影響を与えます。竹があんなに高くまっすぐなのに、強い風が吹いても折れることがないのは、たくさんの節目があるからです。

○これが、「竹の成長」が人の生き方や人生にも例えられる所以ではないでしょうか。

○節目がしっかりした竹はよく伸びると言われます。これから「年度末、そして新年度」を迎えるこの時期、「節目」がしっかりとしたものになるよう、特に、6年生にとっては、これから進学する中学校でもしっかりと伸びていけるような、強くしっかりとした節目となるよう、学校・家庭・地域で、連携を密にして進んでいければ、と考えております。

○それでは、この後の懇談会、どうぞよろしく願いいたします。